

Patsnap Eurekaと国産知財AIツール群の徹底比較分析：機能・法制適合・導入戦略における技術評価

Gemini 3.6 Flash

緒論：知的財産DXにおける自律型AIエージェントおよび生成AIプラットフォームへのパラダイムシフト

世界的な知的財産(IP)および研究開発(R&D)の領域では、単なるテキスト生成や単発の質疑応答を行うプロンプト型AI(Chat型AI)の試用段階を超え、一連の専門業務ワークフローを自律的に完遂する「AIエージェント」や、数千～数万件規模の膨大な特許データを一括解析・可視化する「大規模生成AIプラットフォーム」への移行が急速に進展している¹。従来の先行技術調査やFTO(Freedom to Operate: 他社権利侵害予防)調査、明細書作成、拒絶理由通知への対応、ポートフォリオ分析といった業務は、専門的な知見と膨大な作業時間を要し、外部委託に伴う高額なコストや納期の遅延が常態化していた¹。

この課題に対し、広大なグローバル特許・論文データベースと高度なドメイン特化型大規模言語モデル(LLM)を統合した「Patsnap Eureka」をはじめ、日本の知財実務・特許庁審査基準・弁理士法規制に最適化された国産知財AIツール群(サマリア、TokkyoAI、GenzoAI、AI Samurai、Patentfield AIR)が台頭している¹。

本レポートは、これらの主要6ツールに関する包括的な技術情報に基づき、アーキテクチャ、機能性、ガバナンス構造、法的適合性、および導入コスト対効果(ROI)を多角的に比較検討し、企業および知財専門職における最適な導入戦略を提示するものである¹。

対象システムの概要と基本アーキテクチャ比較

各プラットフォームは、開発主体の背景、集積されているデータ基盤の規模、および適用されるアルゴリズムの設計思想において明瞭な相違を示している¹。グローバルな検索・分析能力を追求するPatsnap Eurekaに対し、国産ツール群は実務家のノウハウ再現、日本法規への適合、あるいは高度な特許マップ・大集合データ一括解析との融合を軸として進化してきた¹。

評価軸	Patsnap Eureka	サマリア (Summaria)	TokkyoAI (MyTokkyoAi)	GenzoAI	AI Samurai (AI Samurai ONE)	Patentfield AIR
開発元・	PatSnap	パテント・	リーガル	株式会社	株式会社	Patentfiel

背景	Japan ¹	インテグレーション株式会社 (代表:大瀬佳之 弁理士・AIエンジニア) ⁵	テック株式会社 ¹³	Genzo AI (島津製作所90%出資、IP Agent共同設立) ¹⁴	AI Samurai (大阪大学・北陸先端科学技術大学院大学発) ¹⁷	d株式会社 ¹⁸
基本設計思想	知財・R&D・創薬特化型自律AIエージェントプラットフォーム ¹	弁理士開発の特許読解・実務支援アシスタント/ワークフロー ⁵	ディープエージェント方式による思考過程可視化型知財DX ²	製造業知財部内製ノウハウに基づく実務直結型「AI×人」協働基盤 ⁹	独自特許DBを全件数秒で精査する類似文献評価AI ⁸	総合特許検索・マップ可視化+最大1万件一括生成AI解析 ³
収録・連携データ規模	特許2.08億件、論文2.15億件、法務データ16億件(計35億件以上、毎週更新) ²⁰	日米欧中4,500万件以上の特許公報DB+審査官ラボ/知財管理連携 ⁵	国内外特許DB、四法横断データ、企業財務・属性情報 ¹⁰	連携外部特許DB(国別FTO検索連携)+社内開発資料 ⁹	特許庁保有データに基づく独自構築特許データベース ⁸	日・米・欧・中・韓・台・WO等のグローバル特許DB(最大1万件母集団処理) ³
コアAIエンジン	PatSnap GPT(ドメイン特化型LLM)+4段階データパイプライン ⁵	Azure OpenAI Service (GPT-4/C hatGPT)+実務アルゴリズム ¹⁹	ディープエージェント方式(Deep Search / Deep Analysis) ¹⁹	生成AI+島津製作所実務ルール(Human-in-the-Loop構成) ⁹	独自開発類似文献評価アルゴリズム+検索式自動生成AI ⁴	OpenAI GPT / Anthropic Claude + AIセマンティック検索・機械学習分類 ³
法的リスク対策・機能	ISO 27001, GDPR, AICPA	弁理士法75条遵守機能、注意喚起表	セキュアプライベートDB(検索	サーバ上データの一定期間自動削除	標準的クラウドセキュリティ対応 ⁴	API経由モデル利用(入力データの

	SOC認 証、デー タ非学習 保障 ²⁰	示、グ レーゾー ン解消確 認済み ⁵	履歴漏洩 防止) ¹⁰	機能 ²⁵		非学習保 障、最大 30日保存 後削除) ²⁶
価格体系	法人向け 年間契約 (利用 エージェ ント数・規 模に応じ た見積) ¹	無料プラ ンあり、一 括指示・ SDI等企 業向け機 能提供 ⁴	1IDあたり 月額 7,000円 (税抜)～ 法人マル チIDプラ ン ²¹	SaaS形式 年間契約 (2030年 目標320 社導入) ¹⁵	Mini/Corp プラン(月 額20,000 円～ 50,000円 ／1ID利 用可) ²⁷	Mini月額 20,000円 (税 別)～、 AIRオブ ション月 額30,000 円～/ID ²⁶

Patsnap Eurekaは、35億件を超える特許・論文・法務データポイントで学習させた独自ドメイン特化型LLM「PatSnapGPT」を中核とし、汎用モデルと比較して60%高い出力精度とハルシネーションの抑制を実現している²⁰。これに対しサマリアは、Azure OpenAI Serviceを活用しつつ弁理士の実務知見を組み込んだ特許取得済みのアルゴリズムによりスクリーニング精度を高めている⁵。GenzoAIは島津製作所の知財部門が長年内製開発してきた実務プロセスの外販化であり、「Human-in-the-Loop」体制を前提とする⁷。Patentfield AIRは、プロフェッショナル向け特許検索・マップ可視化基盤にGPTやClaudeなどの生成AIエンジンを統合し、最大1万件の母集団を一括処理してマップ可視化へとリアルタイムで連携させる構造を特徴とする³。

業務機能別の詳細比較と定量的評価

先行技術調査および新規性評価 (Novelty Search)

先行技術調査における最大の不確定要素は、人間の知財担当者や調査員による特許分類(FI/Fターム)の選択や論理積・論理和を用いた検索式の組み立て精度にある¹。

Patsnap Eurekaの「Novelty Search Agent」は、検索式(Boolean query)の作成プロセス自体を排除するアプローチをとる²⁰。ユーザーが発明提案書や技術内容を自然言語で入力すると、AIエージェントが主要な技術要素を自動抽出し、特許・非特許文献・ウェブ情報を対象に最大6回の反復的マルチ検索を実行する。抽出された公報との類似性は技術的特徴ごとに構造化された比較表にまとめられ、ノベルティレポートとして数分で出力されるため、コストを最大95%削減できる。

サマリアの「調査支援ツール」は、特許調査の第一人者の実務スキルを再現したAI処理を採用している²⁰。無効化対象特許の請求の範囲や発明提案書等をアップロードすると、生成AIがキーワードの重み付け解析を行い、予備検索・精度評価を経て適切な特許分類(FI/Fターム)を特定し、最大50個の検索式を作成・提案する²⁰。統合された約2,000件規模の母集団に対してAIが全件査読(コンプリートサーチ)を実行し、従来20時間を要した全文査読を自動化する²⁰。

Patentfield AIRは、ブーリアン検索・セマンティック(類似概念)検索・類似画像検索・機械学習分類(AI分類予測)などの多様な検索モードで作成した最大1万件の検索母集団に対し、生成AIによる一括対比評価や自動ラベリングを実行する³。請求項案の構成要素と先行文献の段落レベルでの対比評価を行う機能を有しており、査読・スクリーニングにかかる工数を約65%削減する³。

AI Samuraiは、特許庁が保有する全特許データを独自のデータベースとして保持し、数十秒で全件精査を行う高速処理能力を強みとする⁸。AIが自動生成した検索式を人間が手動で微調整できるインターフェースを提供している⁴。

評価項目	Patsnap Eureka	サマリア	TokkyoAI	GenzoAI	AI Samurai	Patentfie Id AIR
検索式の要否	完全不要（自然言語入力からマルチ検索）	AIがFI/F-term含む検索式を自動作成・提案 ²⁰	不要（意味ベースのDeep Search） ¹⁹	不要（開発資料を直接ドロップ） ⁷	AI自動作成＋人間による編集が可能 ⁴	ブーリアン/AIセマンティック/画像検索と連携 ³
母集団査読手法	35億件超のグローバルDBを直に自律探索 ²⁰	2,000件規模の全件査読（コンプリートサーチ） ²⁰	ディープエージェントによる構造化抽出 ¹⁹	社内ロジックによる特許性ランク付け ⁷	全特許DBを数十秒で全件精査 ⁴	最大1万件母集団を一括査読・対比評価 ³
非特許文献（論文）	2.15億件の論文DBを同時検索 ²⁰	主に特許文献中心 ¹⁹	特許文献中心 ⁵	主に特許文献中心 ⁷	特許文献中心 ⁴	主に特許文献中心（多国籍対応） ³

FTO（他社権利侵害予防）調査およびクリアランス評価

製品化や市場投入に先立って実施されるFTO調査は、侵害訴訟リスクを回避するための重要不可欠な手続きであるが、従来の外部委託では1件あたり5,000ドルから10,000ドルの費用と数週間のターンアラウンド時間を要していた¹。

Patsnap Eurekaの「FTO Search Agent」は、製品開発の「コンセプト」「設計・開発」「出荷前」の各フェーズにおいて継続的にリスク評価を実施するワークフローへと転換させる⁴。評価スピードを60倍から500倍に高速化し、1レポートあたりのコストを最大90%削減（約200ドル/レポート）することで、単発型チェックから高頻度なリスクモニタリング体制への移行を実現する⁵。

サマリアの「対比支援機能」は、製品仕様や対象発明と特許請求の範囲（Claims）との関連性をAIが詳細に検討し、スコアリングとともに検討結果を出力する。ノイズ特許の迅速なスクリーニングを可能にし、検討結果をハイライトやメモ情報が付与された状態でWordやExcel形式にダウンロードできる。

GenzoAIの「Module 05: FTO（侵害予防）」は、メーカーの製造現場に特化した運用設計を持つ⁷。開発資料をアップロードして対象国を指定すると、連携する外部特許DBでの検索から一次スクリーニングまでが自動で完了する⁷。島津製作所の運用では、AIが「侵害にあたらぬ」と判定した特許資料については人間による再確認を省略するルールが導入され、研究開発者のFTO関連工数を約

90%削減した実証値が報告されている²²。

Patentfield AIRでは、検索母集団に対して製品構成要素や自社技術をプロンプト設定（関連性評価指示）し、対象文献の請求項との抵触可能性を数値スコアや理由テキストとして一括出力できる³。抽出された高リスク公報群のデータをExcelエクスポートし、精査へ繋げることが可能である³。

明細書作成・中間処理・権利化業務の支援

出願書類の作成や特許庁からの拒絶理由通知に対する中間処理は、日本特有の明細書フォーマットや審査実務に則した高度な文書生成能力が求められる分野である⁴。

サマリアは、拒絶理由通知書を解析して審査官の認定内容を整理し、「応答方針コメント」や「意見書案・補正書案」のたたき台を生成する拒絶対応支援ワークフローを備えている⁴。また、出願前の発明提案書作成支援からゼロベースでの明細書ドラフト作成、納品済み明細書のチェック機能までをカバーしており、知財管理システム「root ip クラウド」との連携により、案件管理から実務処理までをシームレスに接続している⁵。

GenzoAIは、「Module 01: 届出・出願」「Module 02: 翻訳」「Module 03: 中間処理」を通じて出願手続きの一連の工程に対応する⁷。特に日本語明細書の英語・中国語への翻訳機能や図面内テキストの翻訳に対応しており、従来高額であった外国出願の翻訳・作成業務の内製化を支援する⁹。中間処理においては審査官の判断論理を評価して補正案を提示し、島津製作所内では「人だけが対応する特許の仕事がなくなった」とされるレベルまでAI主導の業務プロセスが組み込まれている⁷。

TokkyoAIは、研究メモや技術資料から僅か1分で類似特許の検索を行い、特許事務所へ提出できるレベルの発明提案書や明細書ドラフトを自動生成する速射性に特徴がある⁵。

Patentfield（標準機能およびAIR）では、テキスト入力から自動で背景技術・課題・解決手段・効果・実施の形態などの明細書構造化文書を出力する「AIDラフト機能」を備え、発明提案から出願準備までのハードルを下げる支援を行っている¹²。

R&D・事業開発・アイデア創出・パテントマップ分析支援

知財AIツールの適用範囲は知財専門部署にとどまらず、研究開発（R&D）エンジニアのイノベーション創出支援や事業開発段階でのIPランドスケープ（分析）へと広がりを見せている¹。

Patsnap Eurekaの「Eureka R&D」ファミリーは、エンジニア向けの専用エージェントを提供する⁴。「Technical Q&A」は技術課題に対して論文や特許を出典として明記した精度高い回答を生成し、「Find Solutions」機能ではTRIZ（発明問題解決理論）や第一原理を活用して技術的ブレークスルーの方向性を複数提示する⁵。

Patentfield AIRは、特許データ可視化・分析（パテントマップ）との強力なシナジーを強みとする³。生成AIが公報内容から「用途」や「課題」の分類ラベルを大量に自動抽出・付与し、それをPatentfield上の13種類以上のマップ（推論・時系列・引用・クロス集計・用途課題マッピング等）へ即座に反映できる³。さらに「ポートフォリオ分析機能」や「対話型AI分析」を通じ、検索母集団全体における競合他社の技術開発戦略や白地領域（ホワイトスペース）の評価をマインドマップや対話形式で可視化・提示する³。

TokkyoAIは「用途探索機能」を搭載しており、既存特許や技術アイデアからAIが新しい用途や参入可能な新市場の候補を自動リストアップする²³。サマリアおよびGenzoAIは、R&Dエンジニアが記載した技術メモや開発資料をドロップするだけで、課題や従来技術との対比を整理し、出願に耐えうる「発明提案書」へと自動的にブラッシュアップする機能を備えている⁴。

法的適合性・ガバナンス・セキュリティの深層分析

弁理士法第75条（非弁行為制限）への適合性と実装設計

生成AIの普及に伴い、資格を持たない事業者がAIを用いて弁理士の独占業務領域（特定出願の鑑定や書類作成等の有償請負）を侵害する「非弁行為」への懸念が高まっている⁷。

サマリアの開発元であるパテント・インテグレーション株式会社は、代表者自身が弁理士であり、経済産業省の「グレーゾーン解消制度」を活用してサービスの適法性を確認している⁴。同社は2026年6月に弁理士法対応を一層強化し、利用規約第13条での弁理士法違反の禁止規定化、機能利用前およびWord(.docx)出力時の警告表示、専門家の関与確認ステップの義務付けを実施した⁴。

これらは「AIは法律判断を代行するものではなく、弁理士や知財担当者という専門家の能力を拡張・支援するツールである」という概念をシステム的に担保するものであり、導入企業が法的リスクを回避しながら安全に知財DXを推進するための基準を示している⁷。

セキュリティ認証とデータガバナンスアーキテクチャ

知財情報は企業の将来の競争力を左右する最重要機密情報であり、クラウドAIへ入力されたデータの取り扱いには高度なセキュリティ標準が求められる⁵。

- **Patsnap Eureka**: ISO 27001、GDPR、AICPA SOC認証を取得済み²⁰。ユーザーの入力データや技術資料がモデル再学習に使用されないことを厳格に保障している⁴。
- **Patentfield AIR**: 原則としてモデルプロバイダー（OpenAI/Anthropic）の堅牢なAPI環境を利用²⁶。入出力データがモデルの学習目的に利用されることは一切なく、不正使用特定のためのデータ保持期間（最大30日間等）経過後は自動削除される仕組みとなっている²⁶。
- **GenzoAI**: サーバ上にアップロードされた入力データや生成結果を一定期間経過後に自動消去する設定機能を備える。
- **TokkyoAI**: 検索キーワードのトラッキング（スニффイング）による技術動向漏洩を防ぐため、完全隔離されたプライベート特許検索環境を提供する²¹。

組織属性別の導入効果（ROI）と推奨選定フレームワーク

定量的導入効果（ROI）の比較

指標	Patsnap Eureka	Patentfield AIR	サマリア / GenzoAI等の国産ツール
先行技術調査処理時間	数日（外部委託）→ 数分（AI自律完結） ¹	査読時間を最大65%削減、大量公報を一括査読 ³	20時間の全文査読 → 数分のAIスクリーニング ²⁰
FTO調査費用・効果	1件\$5,000～10,000 → 200（最大90%削減） ⁵	1万件母集団の一括スクリーニングで工数激減 ³	島津製作所実証にて年間8,000万円の外部コスト削減 ¹⁶

R&Dエンジニア負担	技術Q&A・ソリューション探索の即時化 ⁵	平易なAIサマリー・用途課題マップによる直感把握 ¹²	FTO関連工数を最大90%削減 ²²
知財部門生産性	弁理士・担当者のキャパシティが2～3倍向上 ⁵	大規模母集団の分析・レポート作成工数を削減 ³	知財部員の業務工数を最大50%削減 ¹⁰

組織タイプ別の推奨ツール選定指針

1. 多国籍展開を行う大手グローバル企業 / グローバルR&D拠点:
 - 推奨構成: Patsnap Eurekaをグローバルインフラとして導入し、国内実務・出願手続き用にGenzoAIまたはサマリアを補完利用。
 - 選定理由: 35億件以上の多言語特許・論文データと174法域をカバーするPatsnap Eurekaのデータ基盤は、海外競合分析や多国籍FTO調査に不可欠である⁵。一方で、日本の特許庁対応や日本語明細書のドラフト作成、外国語出願のための高精度内製翻訳には、GenzoAIやサマリアの国産実務機能が高い費用対効果を発揮する⁴。
2. IPランドスケープ・競合分析・大量スクリーニングを重視する製造業・企業知財部:
 - 推奨構成: Patentfield AIR
 - 選定理由: 最大1万件の公報を一括処理できる大規模査読能力と、生成AIが抽出した用途・課題ラベルを瞬時に13種類以上のパテントマップや対話型分析に変換する機能は、IPランドスケープ業務や競合ポートフォリオ分析において比類ない威力を発揮する³。月額3万円～/IDというオプション価格体系も費用対効果に優れている²⁶。
3. 日本国内を中心に展開する中堅・大手製造業・知財専任部署:
 - 推奨構成: GenzoAI または サマリア
 - 選定理由: 島津製作所の実務ノウハウが組み込まれたGenzoAIは、開発資料からの出願提案作成、FTO一次スクリーニング、契約書レビューまでを包含しており、社内業務の直結的な効率化(年間数千万円規模の削減)を達成しやすい⁹。サマリアは、検索式作成不要の調査支援ツールやSDI(定期監視)の自動化により、知財部とR&Dのやり取りを円滑化する⁵。
4. 特許事務所・弁理士法人:
 - 推奨構成: サマリア
 - 選定理由: 弁理士法第75条への厳格な適合設計と非弁回避のセーフガード機能が組み込まれているため、クライアントへの説明責任を担保しやすい⁴。拒絶理由通知に対する応答方針コメントの作成支援や意見書・補正書案の作成、審査官LABO連携機能など、代理人業務の質と速度を高める機能が揃っている⁵。
5. スタートアップ・大学・中小企業(低予算・知財専任者限定層):
 - 推奨構成: TokkyoAI または AI Samurai(またはPatentfield Standard/Mini)
 - 選定理由: 月額7,000円/ID(TokkyoAI)や月額2万～5万円範囲(AI Samurai、Patentfield Mini)といった低価格帯プランが用意されており、初期投資を抑えた導入が可能である¹⁰。研究メモをアップロードしてから短時間で特許性の自動判定や発明提案書を作成できる機能は、知財専任者が不在の組織においても開発成果の知財化スピードを飛躍的に高める⁸。

結論および今後の知的財産業務の展望

本レポートにおける比較検討の結果、Patsnap Eureka、Patentfield AIR、および日本の主要知財AIツール群は、単純な上位互換の関係ではなく、それぞれの強みを持つ領域を形成していることが見出された¹。

1. グローバル自律型AIエージェント領域 (**Patsnap Eureka**): 特許・論文・法務データを直に探索し、FTOやノベルティ調査をマルチステップで完遂¹。
2. 大集合データ一括解析・IPランドスケープ領域 (**Patentfield AIR**): 最大1万件の母集団を一括査読し、生成AIによるラベリングとパテントマップ可視化を融合³。
3. 国内実務・拒絶対応・出願権利化完結領域 (**サマリア**、**GenzoAI**、**TokkyoAI**、**AI Samurai**): 日本の審査実務・特許庁対応・弁理士法適合・社内申請フローに密着した自動化⁴。

世界の知財実務において、AIツールは単なる文章要約や検索の補助手段から、実務者の指示を受けて複雑なワークフローを完遂する自律型システムへと進化している¹。一次的な調査、分類、スクリーニング、ドラフト作成、データ可視化をAIが高速で代行し、人間(知財担当者や弁理士)がその出力の妥当性を検証・評価して最終判断を下す「Human-in-the-Loop」の体制を整えることが、これからの企業知財部に求められる標準的な運用形態となる⁵。

企業が知財AIツールの選定にあたっては、自社の事業展開範囲(グローバルか国内中心か)、分析・可視化ニーズの規模、知財内製化の程度、法的コンプライアンス要件、および費用対効果を総合的に鑑み、単一ツールの導入にとどまらず、業務プロセスに応じた最適なツールの組み合わせを選択することが推奨される¹。

引用文献

1. AIエージェントが変える特許調査の現場―「Patsnap Eureka」が実現する知財×R&Dの新ワークフロー | PatSnap Japan.pdf
2. 特許特化ディープリサーチ実装！調査から特許出願文書ドラフトまでをAIエージェントが自律実行【TokkyoAi】 - リーガルテック株式会社,
<https://www.legaltech.co.jp/notice/251218-2/>
3. Patentfield AIR | 生成AI調査・分析オプション, <https://product.patentfield.com/air>
4. サマリア内で完結する特許定期監視を実現。定期監視(SDI)機能と検索式による一括指示機能をリリース - PR TIMES,
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000022.000086119.html>
5. 新機能「調査支援機能」のリリース・生成AIを用いた特許調査、分類 - PR TIMES,
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000015.000086119.html>
6. 生成AI特許検索・調査・分析・査読 | Patentfield AIR - evort エボルト,
<https://evort.jp/presentations/patentfield/patentfield-air>
7. 特許読解支援AIアシスタント「サマリア」、弁理士法対応を強化 - PR TIMES,
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000026.000086119.html>
8. AI特許類似文献評価システム『AI Samurai®』 | アジア・ビジネス創出プラットフォーム,
<https://www.abc-pf.org/ja/report/?db=206&no=133>
9. Genzo AI | 次世代知財業務自動化プラットフォーム, <https://www.genzo-ai.co.jp/>
10. TokkyoAi-検索システム(日本) - 株式会社プロパティ,
<https://www.property.ne.jp/sysstem/tokkyoai/>

11. 弁理士、知財担当者の方々に向けたAIによる 特許文書読解アシスタント「サマリア」提供開始, <https://www.atpress.ne.jp/news/351500>
12. Patentfield AIR 機能調査まとめ Gemini, <https://yorozuipsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/d9905fd14a10a36f254e.pdf>
13. 生成AIで特許性をチェック！特許AIエージェントとは【TokkyoAi】 - YouTube, <https://www.youtube.com/watch?v=L8RngkC691k>
14. 生成AI×知財ツール完全ガイド【フェーズ1】発明創出から明細書作成まで――78社の競争地図 Part1 - GriP, <https://growing-ip.com/?p=1413>
15. 知財業務自動化SaaS提供の子会社Genzo AIを設立 当社知的財産部の独自開発プラットフォームを4月から社外へ提供 - 島津製作所, <https://www.shimadzu.co.jp/news/2026/acmnk57uqb3579ay.html>
16. 島津製作所、AI活用で特許業務を効率化 社内実証で年間8000万円削減効果 新会社「Genzo AI」で外部展開へ - BigGo ファイナンス, <https://finance.biggo.jp/news/wVc2JZ0BvbjfYyetXKJG>
17. 特許申請支援システムの「株式会社AI Samurai」, <https://aisamurai.co.jp/>
18. 【2025年更新】特許検索・調査・分析ツールの料金プランまとめ - note, https://note.com/voice_chizai/n/nc781fa68c48f
19. 生成AIを活用した特許文書読解支援サービス「サマリア」 - よろず知財戦略コンサルティング, <https://yorozuipsc.com/blog/ai8613426>
20. サマリア(Summaria) | 特許文書読解支援サービス - パテント・インテグレーション, <https://patent-i.com/summaria/>
21. 知財管理「root ipクラウド」×特許AIアシスタント「サマリア」サービス連携開始のお知らせ, <https://rootip.co.jp/article/view/62>
22. 島津製作所知財部の生成 AI 活用と「Genzo AI」の現状 と今後 - よろず知財戦略コンサルティング, <https://yorozuipsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/a60b08f2867b1c3a7fc2.pdf>
23. 知らないと言バイ、「AI特許エージェント」のリアル - 技術動向調査から発明提案まで - note, https://note.com/yutori_jd/n/n48840ae8f403
24. Patentfield | AI特許検索・特許分析・特許調査データベース, <https://patentfield.com/>
25. 知財力底上げへ 島津製作所が新会社「Genzo AI」設立 業務を自動化、コスト削減, <https://b.hatena.ne.jp/entry/s/www.itmedia.co.jp/news/articles/2603/26/news095.html>
26. Patentfield AIR 生成AI調査・分析オプション, <https://support.patentfield.com/portal/ja/kb/articles/patentfield-air-%E7%94%9F%E6%88%90ai%E8%AA%BF%E6%9F%BB-%E5%88%86%E6%9E%90%E3%82%AA%E3%83%97%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3>
27. 生成 AI 活用特許分析ツールの比較分析: - よろず知財戦略コンサルティング, <https://yorozuipsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/34eff7c02387c7ab46b1.pdf>
28. 料金プラン - Patentfield, <https://patentfield.com/pricing>
29. Tokkyo.Ai, <https://www.tokkyo.ai/>
30. AI Samurai 類似文献評価システム | 特許調査支援システムの「株式会社AI Samurai」, <https://aisamurai.co.jp/landingpage/>
31. 知的財産業務を自動化し、科学技術の未来に貢献する | SHIMADZU TODAY | 島津製作所, <https://www.shimadzu.co.jp/today/20260615-1.html>
32. AIサマリー概要 - Patentfieldヘルプセンター,

<https://support.patentfield.com/portal/ja/kb/articles/ai%E3%82%B5%E3%83%9E%E3%83%AA%E3%83%BC%E6%A6%82%E8%A6%81>

33. 特許読解AI「サマリア」が弁理士法対応強化 | 専門業務を効率化する3つのポイント,
<https://compass.ordentier-corp.co.jp/ai-news/%E7%89%B9%E8%A8%B1%E8%AA%AD%E8%A7%A3ai%E3%80%8C%E3%82%B5%E3%83%9E%E3%83%AA%E3%82%A2%E3%80%8D%E3%81%8C%E5%BC%81%E7%90%86%E5%A3%AB%E6%B3%95%E5%AF%BE%E5%BF%9C%E5%BC%B7%E5%8C%96%EF%BD%9C%E5%B0%82%E9%96%80/>
34. 知財力底上げへ 島津製作所が新会社「Genzo AI」設立 業務を自動化、コスト削減 - ITmedia, <https://www.itmedia.co.jp/news/article/2603/26/1260326095/>
35. 【YouTubeアーカイブ】生成AIを利用した今後の特許調査・特許分析 - note, <https://note.com/anozaki/n/ne755039427dd>